

巻 頭 言

昨年度は、城西大学の創立50周年、現代政策学部10周年の記念の年となりました。新しい11年目を迎えた重要な節目に、現代政策学部の紀要「城西現代政策研究」の10周年記念論文集として第10巻第1号を発刊でき、たいへん喜ばしいことです。

この10年間における本学部の教育、研究、社会貢献の活動は、大いに進展してきました。そして、今後予想される社会の大きな変化を見据えて、さらに次の10年に向けて心機一転、私たち自身の活動のあり方を変革していく必要があります。

しかしながら、大きく変化するいつの時代にあっても、「学問による人間形成」という建学の精神は、本学の教育の根本にあります。教員の研究の積重ねをもとに、教育を通して、これからの社会における有用な人材に学生を育て上げていくことです。研究の成果を発表する場としての紀要も、最終的な目的は、学生に対する教育の質の向上であると考えます。

また、現代政策学部では、とくに課題解決型の教育を重視していますが、教員の研究の成果もきっと課題解決の事例や資料として何らかの形で活用されると思います。なお、課題解決型の教育の方法論に関する議論が紀要論文の中で取り上げられることも期待しています。本学部の特徴の一つとして学際的な研究を奨励しているとともに、研究者の交流をさらに広げて行うためにも、本学と学術交流協定を結んでいる海外の大学の研究者にもこの紀要への投稿を呼び掛けていきたいと思えます。

本記念号を一つの契機として、現代政策学部がこれからの新しい10年に向けて発展することを願っています。

2017年3月31日

現代政策学部

学部長・紀要編集委員会委員長

福島 和伸